



VOL. 21 No.1 The University of the Ryukyus Library Bulletin. 1988. 3. 19

第三世界と資料収集——フィリピンでの滞在から

我部政明

情報とは何か。国語辞典には、状況を知らせること、あるいはその知らせとある。素人ながら私なりに情報を人間が生活をし、生きていくために必要な知らせの総体と定義しておこう。日本においても他の先進工業国と並んで、70年代あたりから基本的人権としての「知る権利」の確立をめざして、「情報公開」を求める動きがでてきた。特に、国民の日常生活への政府の関与が増大するにつれ、その関わり部分に関する情報を国民が等しく接する（アクセス）方法を確立しようというのである。

目次

第三世界と資料収集——フィリピンでの 滞在から（我部政明）……………1	本学教官著作寄贈図書……………11
「矢内原忠雄文庫」の設置……………4	図書館事情……………11
新着図書案内……………5	医学部分館コーナー……………13
本館所蔵視聴覚資料案内（2）……………7	金城清勝分館長定年退官……………13
図書館業務電算化通信No 8……………10	ブラウジングコーナー……………14
法文学部の東南アジア関係 資料の図書館への移管について……………11	貴重図書案内……………15

私たちは、新聞やラジオ・テレビなどのマス・メディアを通して多くのことを知りえる。それ以外にも、大学や公共の図書館にもでかけて最新の出版物や貴重な古書など見たり、あるいは学校とは一味ちがったカルチャー・センターなどにも通うこともできる。博物館や美術館にも比較的容易に行ける。さらには電話回線を利用してコンピューターを接続すれば、様々な事が家にいても知ることができることになるという。実際、どうしたら良いのかわからないぐらい情報が氾濫している。種々雑多な情報の中から個人に必要なのを選択し、その多くは捨てなければならないほど情報公害とさえ指摘されている面もある。

私がいたフィリピンでは、まず日本で当然のこととして入手できるような公的機関の出版物を容易に手することは少ない。例えば、日本の国会図書館に相当する国立図書館がマニラの中心部にある。もちろん、誰でも入れる。そこで、フィリピンの現状を知るために、最も新しい統計資料などを探そうとしたら、せいぜい60年代末か70年代の前半までに止まってしまう。フィリピン研究に関する書物をつめたフロアーもあるが、比較的まとまっているのは60年代までで、その後のフィリピン研究は断絶してしまったのかと印象を受けるぐらい蔵書は少ない。試しに、フィリピンで最も権威のあるとされるフィリピン大学の総合図書館に行っても、同様に新しい書籍を目にすることはあまりない。他方、70年代以降の政府刊行の資料としてそろっているのは、立派な皮の装丁となって書棚を埋めている大統領の公布した大統領命令や暫定国民議会の議事録などである。

ではフィリピンを知るための文書資料に対してどのようにアクセスするかといえば、「顔」であるといえるだろう。つまり、その文書資料を出している公的機関の特定の個人を知っているかで決まるといってもよい。相手はその機関で権限を多くもっていればいるほど入手は容易になる。もちろん、日本でも人的つながりが情報へのアクセスとして効果的であることは否定しないが、紙に印刷され、しかも公けになっているものさえ、個人的なつながりをもっていないと、何がどこにあるかを探るだけで一苦勞である。よしんば、どこにあるかをつきとめたいとしても、残部がないといわれることも多い。個人的なツテがないと、最新データや政府の発表を知るためには新聞報道に頼る以外に方法はない。新聞報道の内容はともあれ、国民の多くが新聞に対して信頼をおいていないのも実情である。

なぜこうした情報へのアクセスが困難であるのかについて、いくつか理由が考えられよう。まず、豊かな日本と異なって発展途上国であるフィリピンでは、財政的にも技術的にも欲しい人にはだれでも文書資料を配るだけの余裕がない、同時に国民の多くがそれらを買うだけの経済的なゆとりがないといえるかもしれない。また、政府が国民の「知る権利」にあまり関心を払ってないため、政府が組織として情報を国民に広く知らせる努力を怠っているともいえるだろう。さらには、マルコスの強権支配体制の下では政府の出す情報があまりにもプロパガンダの性格であったために、新聞を含めマス・メディアからの情報に対して受け手の国民が軽視せざるえない。いずれも決して誤りだといえないが、むしろ説得力のある説明だと思う。だが、基本的には、一つのまとまりとしてのフィリピンの国民の統合の程度がすすんでいるのか、という点を指摘する必要があると思う。次に、フィリピンでは情報一般というものに付加的価値があるということに注目すべきであろうと思う。そして、情報伝達のありかたに特色があるように思う。

ある研究によれば、フィリピン社会がクチコミの世界からラジオによる情報伝達へと情報に対する信頼をおくようになってきているという。たしかに、1986年2月の「黄色い革命」の始まりがラジオから流れたシン枢機卿のメッセージであったし、4日間の展開はラジオによって逐一「革命」参加者に伝えられ、多くの国民も同時的に知ることができた。だが、「黄色い革命」によって誕生したアキノ大統領が国民に語りかける時をみても知りえるように、タガログ語をまじえながらも依然として英語を主体にして話す。英語とフィリピン語（タガログ語を主体）の二つを公用語としているフィリピンで、5600万といわれる国民のうち英語を理解できるのは、意外と多くないようである。ある抽出面接調査によれば、タガログ語のラジオ番組を聞いて理解できるフィリピン人は61%、英語の場合だと49%、テレビ番組や映画ではそれぞれ58%、47%であり、スピーチや宗教的説教となるとそれぞれ41%、10%と少なくなっている。この調査が全国レベルに普遍できるとすれば、アキノ大統領のスピーチを直接に耳で聞いて理解できるフィリピン人の数は国民の6割程度といえるかもしれない。これは、大きく分類しても7つか8つともいわれる言語集団に分かれているフィリピンにおける国民の統合の度合いに強く関係があるのだろう。

情報の付加的価値は、フィリピンの植民地支配体験と十二分に重なる。つまり、支配する側の言語を理解できるあるいは知識をもつことにより、支配する側の考え、意向、政策などをいち早くとらえ、あるいは支配されてきた側の代表の役を担えるということである。このことが、個人対個人の関係を重要視する伝統的な価値と結びつくと、その両者をあわせ持った個人の影響力は高まる。マルコスがそうであったように、多くの地方ボスの存在の人は、その地方と中央との間で情報の媒介者となり、あるいは情報の独占者となる。地方ボスはその地方と中央マニラの両方に居を構え、その間の往復をして、マニラでの出来事を地方の人々の伝えるのが役目の一つである。

フィリピン人の中での挨拶に「アノ・バリタ」（何か新しいことはないの？）がある。それは人々がある新しい情報に接していなければならないということだと思う。また、情報は黙って手に入ることはないので、自らの力で得なければならないことを物語っているのだと思う。つまり、情報がタダではないということだ。若王子氏誘拐事件の際に、多くの贖情報が寄せられ、その代償に金銭が要求されたという。単純によこしまな考えを持つ人が多いのではなく、情報のもつ価値をよく知っているからだと思う。

少なくとも公的機関の情報へのアクセスは、フィリピンに限らず他の第三世界の国々でも同様な状態だと聞く。情報の正確度についても必ずしも信頼できないという。だからといって、研究ができない状態にあるのではない。多くの文書資料を収集して、その比較を通じて実像に迫ることもでき、同時に現地での調査で文書には現れてこない実態を知ることも必要であろう。当然のことだが、研究を進める際に第三世界についての情報は多義であり多様性にわたっていることを知り、少数の情報でもってある全体像を導くことが危険であることを自覚することは大切である。あまり文書資料へのアクセス困難な状況が、悪魔の手がしのびよるように、私たちにこの点を忘れさせてしまっているようだ。

（がべ まさあき：法文学部助教授 国際関係論）

「矢内原忠雄文庫」の設置

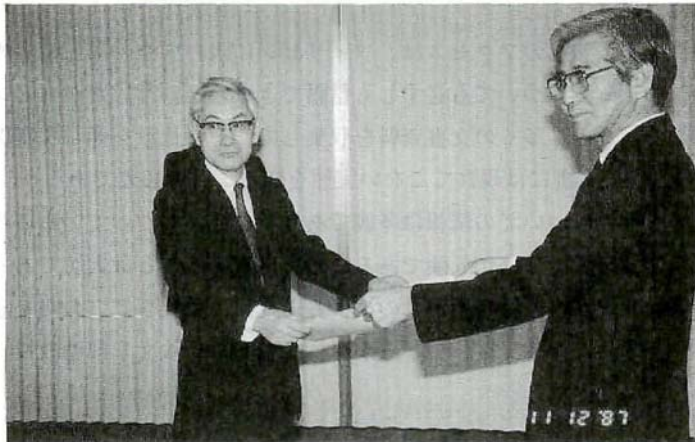
経済学者であり、教育者、伝道者（無教会派）として知られ、沖縄とのかかわりも深い元東京大学総長矢内原忠雄（明治26～昭和36年）先生の蔵書約650冊が、このたび附属図書館に寄贈された。昭和62年12月11日（金）、東江学長から寄贈者であるご子息の矢内原勝慶応大学教授に感謝状の贈呈があった。

矢内原忠雄先生は、一高時代に新渡戸稲造から社会的意識の影響を受け、内村鑑三から宗教的影響を受けられた。東大経済学部では、植民政策講座を担当し、大正15年～昭和12年までの約10年の間に「植民及び植民政策」（大正15）等により植民政策の理論的な体系を作るとともに、台湾、満州、南洋群島におもむき、現地調査の上に立った、日本植民地の実証研究として高く評価される著作を発表された。昭和12年「中央公論」9月号の「国家の理想」（全文削除、矢内原忠雄全集第18巻収載）において、戦争は国家の理想に反するとの論文と講演会、集会での話しが、反戦、反軍的であると問題にされ、辞職を強いられて東大を去った。その後も、聖書研究会を続け、戦争が不正であり、日本が敗北することを指摘されていた。戦後、東大に戻られ、経済学部長、教育学部長、昭和26年から昭和32年まで総長を歴任され、昭和36年、68歳で亡くなられた。

矢内原先生は、東大総長在任中、昭和32年1月16日～20日までの5日間、琉大等の招きで来沖され、図書館にも立ち寄られた。沖縄での講演の第一声は、首里キャンパスの琉大グランドにおいて「世界、沖縄、琉球大学」（全集第23巻収載）のテーマで話された。その後、講演と講和のため沖縄各地を廻られ、多くの人に感銘を与えた。

寄贈図書には、矢内原忠雄先生の自著のほか、宗教、歴史、社会科学、芸術分野等の図書と貴重な「植民及び植民政策」、「南洋群島の研究」等の直筆原稿が含まれている。これと、既に附属図書館で所蔵していた関係図書をまとめて、開架図書室の一角に「矢内原忠雄文庫」として設置し、学生、教官の利用に供している。

（整理課長 橋本健一）



東江学長から感謝状を受ける矢内原勝氏(写真左)



矢内原先生直筆原稿



矢内原忠雄文庫

新着図書案内

欧州（ヨーロッパ）のニューメディア（ジョン・タイドマン、エレン・ジェイクス・ケルム共著）

メディアハウス出版会 1987 007.1

第五世代コンピューター入門（古川康川ほか共著）オーム社 1987 007.6

別れの儀式（シモーン・ド・ボーヴォワール著）人文書院 1984 135.9

東洋における人間観（前田専学編）東京大学出版会 1987 129

中世・近世の国家と社会（永原慶二ほか編）東京大学出版会 1986 210.4

エリアード日記（M. エリアード著）未来社 1984 289.3

ヨーロッパの政治（篠原一著）東京大学出版会 1986 312.3

社会心理学研究入門（末永俊郎編）東京大学出版会 1987 361.5

ミクロ経済学入門（西村和雄著）岩波書店 1986 331.39

ドルと世界経済危機（スティーブン・マリス著）東洋経済新報社 1986 338.97

ファシズムの中の一九三〇年代（久野収著）リプロポート 1986 363.9

日本経済と経済統計（林周二、中村隆英共編）東京大学出版会 1986 331.19

バイオテクノロジー入門（篠原昭ほか共編）培風館 1986 465

化学研究のための情報開発（吉田政幸、中山伸一著）講談社 1987 430.7

実用LAN（都丸敬介著）オーム社 1986 547.2

ソフトウェアの計画と管理（花田収悦ほか編）日科技連出版社 1987 509.6

未来産業の構造（石井威望ほか著；宇井純編）亜紀書房 1986 509

新編農業気象学通論（大後美保著）養賢堂 1980 613.1

世界貿易はこう変わる（マイケル・エイホー、ジョナサン・アロンソン）ティビーエス・ブリタニカ 1986 678.1

ジョギングの科学（古藤高良編著）朝倉書店 1981 782.3

- 女(クリムト画) リプロポート 1986 723.9
 ルターからバッハへの二百年(長与恵美子著) 東京音楽社 1987 762.4
 シンボルの誕生(山下圭一郎著) 大修館書店 1987 801
 国際会議英語の聞き方話し方(佐藤剛男著) 時評社 1986 837.8
 レオナルド・ダ・ヴィンチ(ドミートリイ・セルゲーエヴィチ・メレシコーフスキイ著) 河出書房
 新社 1987 938
 源氏物語の史的空間(後藤祥子著) 東京大学出版会 1986 913.364
 夢野久作の場所(山本巖著) 華書房 1986 910.26
 The university library in the United States (Arthur T. Hamlin). University of Pennsylvania
 1981 017.7
 The electronic library (Hugh F. Cline, Loraine T. Sinnott). Lexington Books 1983 010.253
 Gesamtausgabe (Karl Barth) Theologischer Verlag. 1973-1982 130
 The nature and logic of capitalisim (Robert L. Heilbroner). Norton 1985 332.06
 The U.S. legal system (ed. by Dennis Campbell ...). M. Nijhoff 1983 322.93
 Russian law (ed. by William E. Butler). A.W. Sijthoff 1977 322.98
 Atlas of the microstructure of clay soils (Barbara Grabowska-Olszewska ...). Panstwowe
 Wydawnictw 1984 459.64
 A short history of geomorphology (Keith J. Tinkler). Croom Helm 1985 454.2
 Rock mechanics for underground mining (B.H.G. Brady, E.T. Brown). Allen & Unwin 1985
 501.32
 Viscoelasticity (G.J. Greus). Springer-Verlag 1986 524.4
 Sources of international comparative advantage (Edward E. Leamer). MIT Press 1984 678.01
 Tense and aspect systems (Ö Sten Dahl). B. Blackwell 1985 801.5
 Speaking of survival (Daniel B. Freeman). Oxford University Press 1982 830.7
 Player piano (Kurt Vonnegut, Jr.). Rinsen Book 1986 930.8
 Studies in Joyce (Nathan Halper). UMI Research Press 1983 930.28

〈沖縄関係図書〉

- 青い目が見た「大琉球」(ラブ・オーシュリ, 上原正稔編著) ニライ社 1987 290.99
 ザ・沖縄 読売新聞社 1987 290.9
 Dive in Okinawa 南西航空 1987 290.9
 日の丸 通信簿はいやだの記録(高橋勉著) 風媒社 1986 372.1
 これからの教育(玉城政光著) ひるぎ社 1987 370.4
 戦後おきなわ物価風俗史(琉球新報社会部編) 沖縄出版 1987 382
 写真集・基地沖縄(国吉和夫著) ニライ社 1987 393.9
 空手の歴史(宮城篤正著) ひるぎ社 1987 789.2

- 沖縄の石造文化 (福島駿介著) 沖縄出版 1987 714
 琉球舞踊歌曲地謡全集 (琉球音楽愛好会編) 海邦出版社 1987 766.91
 ダイビングドキュメンタリー (小出康太郎著) 尚文社 1987 785.3
 ザ・ダイビングin沖縄 (小出康太郎著) 尚文社 1986 785.3
 おもろさうし精華抄 (おもろ研究会編) ひるぎ社 1987 911
 沖縄決戦 (新里堅進作・画) ほるぷ出版 1985 950
 海鳴りの底から 戦時遭難船舶遺族会 1987 950

本館所蔵視聴覚資料案内 (2)

1. カセットテープ

- 数学の急所 遠藤豊吉ほか著 太郎次郎社 1983 T481
 Evergreen, 1-2 百万人の英語編 日本英語教育教会 198? T484~493
 朝鮮語入門 塚本勲著 岩波書店 1985 T558~560
 カタルニャ語会話 瓜谷良平著 大学書林 1982 T561, 562
 昭和60年度琉球大学放送公開講座 第1~13回 「国際化時代と生涯教育」ほか K379.4-R98
 日本：その姿と心 新日本製鉄能力開発部著 ランゲージ・サービス (発売) c1984 302.1-N77
 シナリオ・カセット英語名作シリーズ 語学春秋社 1972-1980 932
 1. ジェーン・エア 2. 嵐が丘 3. チップス先生, さようなら、80日間世界一周 4. 黒猫。
 落し穴と振子 5. 誰がために鐘は鳴る 6. 二都物語 7. 人間の絆 8. 白鯨、緋文字 9.
 武器よさらば 10. 息子と恋人 11. 怒りの葡萄 12. アメリカの悲劇 13. すばらしい新世
 界 14. 若草物語、足ながおじさん 17. 不思議の国のアリス 18. ロミオとジュリエット、
 ハムレット 19. リア王、マクベス
 Best hits of screen music, 1~12 講談社 1984 767.8-B39
 Brennpunkte / Heinrich Stalb. München, Max Hüber, c1978 T536,537
 American talkaout, 1-2 / Megan Webster and Libby Castañón Oxford, Oxford Univ.
 Press, 1983 T550,551
 Japanese for busy people, 1-4 / Association for Japanese-Language Teaching. Tokyo,
 Kodansha International, c1984 T552-555
 Words and their stories / ed. by Yukio Saegusa ... Tokyo, Interantional Communication
 Incorp. 1977 T568-570
 Storyteller, 1-2 / ed. by Yukio Saegusa, Koichi Iwase and Yukinobu Yoneyama. Tokyo,
 International Communications Incorp. 1977 T571-576
 American short stories / ed. by Yukio Segawa ... Tokyo, International Communicatins
 Incorp., 1978 T577-579

- American men of science and invention / ed. by Yukio Saegusa ... Tokyo, International Communications Incorp., 1978 T580-582
- Distinguished American series / ed. by Yukio Saegusa ... Tokyo, International Communications Incorp., 1978 T583-585
- Discovering English / Joanna Gray ... London, Cassell, c1982. 837.8-GR
- Exploring English / Michael Thorn ... Eastbourne, East Sussex, Cassell, c1979 837.8-TE
- Thinking English / Michael Thorn. Eastbourne, East Sussex, Cassell, c1979 837.8-TH
- Starting English / Joanna Gray. Eastbourne, East Sussex, Cassell, c1981 837.8-GR
- Word wars : formal English vs. everyday English / Nina Weinstein. Tokyo, Language Services, c1983 837.8-WE
- Whad daya say? / Nina Weinstein. Culver City, CA., ELS Pub., c1982. 837.8-WE
- Magazine USA. Tokyo, Language Services, c1984 053.4-MA
- The New intensive course in English, elementary part 1-2 / Willard D. Sheeler ... Tokyo, English Language Service, c1978 837.8-NE
- The New intensive course in English, intermediate part 1-2 / Willard D. Sheeler ... Tokyo, English Language Service, c1978 837.8-NE
- VOA news in cassette / ed. by Yukio Saegusa ... Tokyo, International Communications Incorp., c1981 837-VO
- TOEFL : test of English as a foreign language New York, Arco Pub., 1984 830.7-TO

2. ビデオテープ

- NHKビデオ教材高等学校理科(物理編) No 1~30 NHKサービスセンター
各10分 カラー 1980 V1~30
- NHKビデオ教材高等学校理科(化学編) No 1~10 NHKサービスセンター
各10分 カラー 1982 V31~40
- 躍進する琉球大学図書館: 琉大移転の記録 兼島清撮影 1981 V66
- 出光潤滑油シリーズ 出光 45分 カラー 198? V70
- Deutsch lernen Deutschland kennenlernen, 1-20. NHK, 1985 V178-197
- Communications and speech. Tokyo, Gemco, 198? V198-205
- En Francais, deuxieme partie, emission 14-26. Paris, Didier, 1983 V206-212
- Language acquisition. Tokyo, Gemco, 198? V213
- Communications and speech. Tokyo, Gemco, 198? V214, 215
- NHK市民大学沖縄の歴史と文化 1~13 外間守善講師 日本放送協会編
日本放送協会サービスセンター 1985 V224-236
- 教師教育ビデオ教材 放送教育開発センター制作 放送大学教育振興会 1986 V274-280
- 琉球大学放送公開講座「沖縄の農業」 第1~13回 K379.7-R98

- On business abroad. Berlitz & C. Itoh, c1983. 670.93-ON
 Your video passport. エア-サプライ 198? 837.8-VO
 Writers' houses series : William Wordsworth. London, BBC Enterprises, 1984 938-BR
 Writers' houses series : William Cowper. London, BBC Enterprises, 1984 938-BR
 Maugham / producer, Anthony Rouse. London, BBC Enterprises, 1984 938-BR
 Dylan Thomas / producer, Andree Molyneux. London, BBC Enterprises, 1984 938-BR
 One power alone / producer, Andree Molyneux. London, BBC Enterprises, 1984 938-BR
 American English in modern situations, I, v. 1-6. Tokyo, Aves & Book Sales, c1981
 830.7-AM
 Living in Washington. Walton-on-Thames, Nelson Filmscan, 1984 830.7-LI
 Japan today, v. 1-10 / produced by Telejapan. New York, Telejapan, c1984 302.1-JA
 Living abroad, 1-6. Berlitz & C. Itoh, c1984. 837-LI
 The complete dramatic works of William Shakespeare / producer, BBC. Tokyo, NHK
 Service Center, 1984
 Macbeth V67-69 -- Romeo and Juliet V84-86 -- Twelfth night V87-89 -- Henry VIII
 V90-92 -- Henry IV V93-95 -- Henry IV V96-98 -- The tempest V99-101 -- Taming of
 the shrew V102-104 -- Merchant of Venice V105-107 -- All's well that ends well V10
 8-110 -- Othello V111-114 -- A midsummer night's dream V115-116 -- Troilus and Cres-
 sida V117-120 -- Antony and Cleopata V121-123 -- Henry V V124-126 -- Timon of
 Athens V127-129 -- The winter's tale V130-132 -- King Lear V133-136 -- The Merry
 wives of Windsor V137-139 -- Coriolanus V 140-142 -- Julius Caesar V143-145 -- Cym-
 beline V146-148 -- Richard III V149-152 -- Henry VI, part 1-3 V153-164 -- Haml- et
 V165-168 -- As you like it V169-171 -- Richard II V172-174 -- Measure for meas- ure
 V175-177 -- The comedy for errors V216-217 -- Love's labours lost V218-220 -- Titus
 Andronicus V221-223 -- Much ado about nothing V250-252 -- The two gentlemen of
 Verona V253-255 -- Pericles V256-258 -- King John V259-261

3. 映画フィルム

- 壺屋焼 壺屋陶業事業協同組合企画 シネマ沖縄 1984 27分 カラー E57
 伊勢の遷宮 メロディ・パーク音楽出版 198? 分 カラー E58

〈図書館業務電算化通信 No 8〉

電算化関連組織の再編成について

ILIS 正式版の導入が一段落したのに伴って、電算化関連の組織の見直しと分担機能の明確化を図るため編成換えがあった。

新

図書館業務電算化委員会

図書館業務電算化の中・長期的な運用全般にわたる基本的事項を策定し、全学的視野に立った連絡調整を行う。
部課長、専門員、係長、学術情報係及び選出された係員で構成する。

業務別運用班

各業務システムの運用、企画等を担当する。各業務システムにおける当該係長、係員と学術情報係で構成する。

運用連絡班

電算システムの実務的な連絡調整を行う。業務別運用班の連絡員と学術情報係で構成する。

旧

ワーキンググループ電算班

電算化に関する方針等の決定を行う。
部課長、専門員、電算化に関わる係長係員で構成する。

サブグループ

各業務システムの電算化の検討を行う。
関係する各係の係長、係員で構成する。

実務者打合せ会

電算化に関する実務連絡、検討を行う。
電算化実務に携わっている各係の代表で構成する。

図書館業務電算化日録

昭和62年11月～昭和63年1月

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 11月4日(水) 富士通、情報処理センターとの
打合わせ(ILIS 正式版導入完了) | 14日(月) 図書館業務電算化委員会(第1回) |
| 実務者打合わせ(第21回) | 16日(水) 運用連絡班会議(第2回) |
| 13日(金) 実務者打合わせ(第22回) | 23日(水) 運用連絡班会議(第3回) |
| 16日(月) 情報処理センター運営委員会 | 1月6日(水) 運用連絡班会議(第4回) |
| 18日(水) 実務者打合わせ(第23回) | 13日(水) 運用連絡班会議(第5回) |
| 25日(水) 実務者打合わせ(第24回) | 19日(火) 図書館業務電算化委員会(第2回) |
| 12月2日(水) 実務者打合わせ(第25回) | 20日(水) 情報処理センターとの打合わせ
(センターへの要望) |
| 3日(木) ワーキンググループ電算班会議
(第3回) | 運用連絡班会議(第6回) |
| 9日(水) 運用連絡班会議(第1回) | 27日(水) 運用連絡班会議(第7回) |

東南アジア関係資料の図書館への移管について

法文学部で昭和60年より文部省特別予算で購入されてきた東南アジア関係資料が、このたび図書館に移され、利用できることになりました。

これらの資料は従来から図書館で収集してきた資料と併せてアジア資料コーナー（3階）に配架されます。

この資料の購入特別予算は、約10年間継続される予定でありアジア関係資料が今後大幅に充実されるものと期待されています。

本学教官著作寄贈図書

昭和62年11月から昭和63年2月までにご寄贈いただいた分を掲載します。（敬称略）

- 池宮正治（法文学部） 「おもろさうし精華抄」おもろ研究会編 ひるぎ社 1987
- 河名俊男（教育学部） 「琉球列島の地形、シリーズ沖縄の自然③」新星図書出版 1988
- 永井 實（工学部） 「エネルギー特別研究（エネルギー）研究成果要旨集（文部省科学研究費補助金）
- 秋永孝義（農学部） 「沖縄県産農産物の流通技術に関する実証的研究」沖縄県共同ビジネス株式会社 1977
- 東 清二（農学部） 「沖縄産昆虫目録」東清二・金城政勝 新星図書 1987
- 仲程昌徳（教養部） 「沖縄文学論の方法」新泉社 1987
- 我部政男（短期大学部） 「沖縄史料学の方法」新泉社 1988
- 島村潤一（名誉教授） 「マネジメント・リビュー特集号 企業経営と会計の新展開」同文館 1977

図 書 館 事 情

〔第174回図書館運営委員会〕

日 時：昭和63年2月17日（水）10:00～

場 所：図書館会議室

議 題：1. 大型コレクションについて 2. 学生共通図書費について 3. 昭和64年度概算要求事項（案）について 4. 東南アジア関係図書資料について 5. その他

報告事項：1. 図書館事務組織の改組について 2. 大型資料（外国学術図書）について 3. 矢内原忠雄文庫の設置について 4. 視聴覚機器専門委員会について 5. その他

〔出 張〕

昭和62年11月24日（火）整理係長 金城照子

第8回大学図書館研究集会、大阪・26日まで

昭和62年11月25日（水）参考調査係 岡本淳子

第19回国連寄託図書館会議、京都・27日まで

昭和62年12月6日（日）分館閲覧係 伊佐眞一

昭和62年度大学図書館職員講習会、大阪・11日まで

昭和63年1月25日（月）受入係 棚原淳治

文部省、東京・27日まで

昭和63年1月27日（水）事務部長 重松多喜造

昭和62年度国立大学附属図書館事務部長会議、千葉・29日まで

昭和63年2月2日（火）整理係長 金城照子

昭和62年度九州地区国立学校等係長研修、那覇・5日まで

昭和63年3月1日（火）閲覧課長 山田勉、参考調査係長 仲西盛秀

情報機器の利用サービス及び視聴覚機器システムについて事務連絡・研修、大阪・3日まで

〔来館者〕

昭和62年12月11日（金）慶応大学：矢内原勝教授

昭和63年1月27日（水）大阪大学：石川亮整理課長

昭和63年2月5日（金）九州大学：西嶋武 整理課長補佐

昭和63年2月18日（木）熊本大学：福岡廣閲覧課長

〔人事異動〕

（昭和63年2月1日付）

整理課受入係 栄野川敦 新規採用

〔その他〕

沖縄県大学図書館協議会講演会

昭和63年1月14日（木） 17：00～20：00

場 所：附属図書館視聴覚室

講演者：大城宜武館長、沖縄キリスト教短期大学附属図書館

演 題：漫画テキストの作成

医学部分館コーナー

〔第20回運営委員会〕

日 時：昭和63年2月18日（火） 16：00～17：00

場 所：医学部分館会議室

議 題：情報検索の経費について

報告事項：1. 大型外国学術図書について 2. 閲覧業務の電算化について 3. 研究用図書の確認調査について 4. 講座購入雑誌貸出について 5. 沖縄ビジネス外語学院生の見学、実習について 6. 昭和63年版購入学術雑誌目録の発行について

〔教官著作寄贈図書〕

昭和62年10月から昭和63年2月までにご寄贈いただいた分を掲載します。

野口克彦（薬理学） 学位論文「新しいアンジオテンシン変換酵素疎外薬の重要臓器血流量に及ぼす影響」 鹿児島大学 昭和62年

寺嶋眞一（第2生理学） 「Infrared sensory system」 琉球大学 1987

修山幸志郎（第3内科） 「高血圧診療シリーズ（1）治療のポイント」 メディカルジャーナル社 1987

〔来館者〕

昭和63年1月20日 沖縄ビジネス外語学院生33名 実習、見学

金城清勝分館長定年退官

金城清勝分館長は、この4月1日をもって定年退官されることになりました。

金城先生が琉球大学医学部教授に迎えられたのは昭和56年4月1日で、国立大学最後の医学部が琉球大学に創設されて、医学科第一期生が入学した年度でありました。

爾來7年間琉球大学評議員をはじめ、幾多の学内委員を歴任され、琉球大学の発展充実に貢献されました。図書館の委員としては中央図書館の運営委員を昭和56年10月1日から昭和60年9月30日まで務められ、また昭和59年4月1日には医学部分館設置とともに分館長に就任され、昭和63年3月31日まで二期4年間医学部分館の充実整備にご尽力されました。

金城分館長の二期4年間は、医学部分館の設置にはじまり、学術雑誌の集中化、コアジャーナルの見直し充実、2年にわたる医学科創設設備費による視聴覚機器の整備、バックナンバーの補完、電算化等分館の内容整備に全精力を注いでられました。ここに館員一同感謝の意を捧げます。

金城清勝先生略歴

- 昭和16年3月 沖縄県立第二中学校卒業
〃〃21〃8〃 慶応義塾大学医学部卒業
〃〃22〃12〃 第三回医師国家試験合格
〃〃28〃7〃 慶応義塾大学医学部細菌学教室助手
〃〃30〃10〃 医学博士
〃〃36〃7〃 慶応義塾大学医学部生理学講師
〃〃39〃4〃 神戸大学医学部助教授
〃〃56〃4〃 琉球大学医学部教授
〃〃59〃4〃 〃〃 附属図書館医学部分館長（初代）
〃〃61〃4〃 〃〃 附属図書館医学部分館長（二代）
〃〃63〃4〃 定年退官

その他併任及学内委員

- 評議員 昭和56年10月～58年10月
教務事務電算化委員 昭和59年10月～
図書館運営委員 昭和56年10月～60年9月（二期）
施設整備委員 昭和58年4月～58年10月
移転完了祝賀会行事企画委員会委員 昭和59年12月（医学部分館）

ブランジング・コーナー

正月休み

琉大の学生の中には学問好き勉強熱心な人がたくさんいて、閉館通知の掲示を出すと必ず2・3人の学生が文句を言いにくる。去った正月休みの掲示を出した時も、「どうしてお正月は閉館するのですか」と理由を聞きに来た学生がいた。このような真面目な学生に出会うと商売繁昌の神様に見えて、図書館員としては有難くて涙の出る程嬉しいものです。習慣というのは恐ろしいもので、毎年、年末年始は一週間程休閉館しています。言い訳にもならないと思いますが、誠にすみません。この期間は自宅か自室で、ご研究願えないでしょうか。

（閲覧課 T. Y.）

貴重図書案内

手形 八重山嶋江一世流形

一枚 27.9×70.8cm 続紙 楮紙

1854年（安政元）1月、ペリー提督等が再び来琉したとき、水兵殺害事件がおきた。主犯は田場武田（たば んた）といわれたが、田場にかわって「かま渡慶次」と名乗る架空の人物を犯人にたてて、八重山に流刑に処すというものである。

この手形は、1854年（安政元）9月、琉球国布政官から八重山在番宛に令達されたものである。

幕末期における外国船が頻りに来琉する背後に、琉球国の外交上「苦肉の策」の一端をかいまみる貴重な資料である。（宮良殿内文庫。昭和62年3月補修）



琉球大学附属図書館報 “びぶりお” 第21巻 第1号 [通巻第78号]

昭和63年3月19日 発行

発行 琉球大学附属図書館 沖縄県西原町千原1番地

電話 (09889) 5-2221 内線 (2143) 編集 びぶりお編集委員会